

ビジネスプランの作成・提案

(3年国語表現)

—— 地元企業の抱える課題の解決を目指す ——

経営学

企業経営において
大切なことは何か？

メディア学

どうすれば
テレビや制作動画の
視聴率が上がるのか？



技術、芸術

IT 機器を使い、
ビジネスプランを効果的に
発表するための
スライドを作成する

環境学

スーパー等で処理され
た魚の骨や内臓等は、
その後どうなるのか？

家庭科

魚を包丁で捌いたり
調理したりする技術を
身に付ける

授業のねらい

- ① 地元企業の抱える課題に対し、様々な領域を統合しながら解決策を考える楽しさ、技術力が向上する楽しさ、人の役に立つ喜びを実感する
- ② 実際に企業の方々と関わり、またコンクールで大勢の企業関係者の前でプレゼンを行うことで、思考力・表現力・精神力を高める

鳥取県は、昭和から平成にかけて、電気機械製造、精密加工技術、電子部品・電子基板、バイオテクノロジー分野など様々な産業により発展し、本校は1939年の創立以来、それらの地域産業を支える人材を数多く育成してきました。

そして現在、グローバル化やデジタル分野を中心とした技術革新が加速度的に進み、地元の各企業でも、これまでの方法が全く通用しないような状況が生まれています。

国語表現は、思考力、想像力、表現力、コミュニケーション能力などを磨きながら、社会生活をより良いものにしようとする姿勢を育てる科目です。この単元では、鳥取の未来を担う生徒たちが地元企業と連携しながら、企業の抱えている課題に対して解決策を考え、実際にコンクールの場でプレゼンテーションを行います。今回の学習を通して、地域の未来を担う生徒たちが強く成長してくれることを期待しています。

授業の流れ

(1) 企業及び課題の決定



2023年5月、鳥取商工会議所の方が「ビジネスプランコンテスト」(10月9日、とりぎん文化会館)を案内するため、来校しました。地元企業が抱える課題に対して、高校生が解決策を提案するものです。

国語表現から2チーム参加することになり、マッチングの結果、(株)日本海テレビジョン放送の「どうすれば若者にテレビを見てもらえるのか」、(株)魚倉(鮮魚仲買業)の「どうすれば自社のYouTubeチャンネルの再生回数が伸びるか」という課題について、それぞれ取り組むことになりました。

(2) 「高校生のためのビジネスプラン作成講座」への参加 **経営学**



まずはビジネスプラン作成の基本を学ぶため、2023年8月3日、日本政策金融公庫主催の「高校生のためのビジネスプラン作成講座」に参加することにしました。

講義や演習を通して、起業家精神、やりたいこと・社会が求めていること・達成のためにできることの3観点からの思考、様々な手段を駆使した情報収集など、ビジネスプランを作成する上での基本を学びました。生徒たちは、講師に積極的に質問したり、自分たちの考えや思いを伝えたりしていました。

(3) ビジネスプラン作成(日本海テレビチーム4名) **メディア学**



日本海テレビチームは、まずは日本海テレビ本社へ行き、撮影の現場の見学、日本海テレビ編集部との情報交換などを行いました。次に、若者のテレビ視聴の実態を知るため、本校生徒100人へのアンケートを行い、結果を分析しました。日本海テレビとはオンライン会議を含め計4回協議を行いました。

ビジネスプラン作成講座で学んだこと、撮影現場見学や情報交換を通して感じたこと、アンケート結果の分析から見てきたことなどを統合し、若者のテレビ視聴率を上げるための方法を考え、企画書を作成しました。

(4) ビジネスプラン作成（魚倉チーム3名）

環境学、家庭科



魚倉チームもまずは企業を訪問しました。そして、スーパー等で処理された魚の骨が業者に回収されていることを知り、家庭でも何かできないかという観点と、自社のYouTubeチャンネルの再生回数を伸ばすという課題を結びつけながら、企画書を作成しました。生徒たちは、YouTube 動画に2本出演し、また9月8日には本校調理室にて、魚の骨を調理する動画「高校生が骨せんべい作りに挑戦」を撮影しました。そして企画書を調整し、スライド作りに挑みました。

(5) スライドの作成、プレゼンテーションの練習

技術・芸術



両チームとも、授業中や放課後に STEAM Lab を活用し、協働しながらスライドを作成していきました。Google スライドだけでは納得のいくものがつくれないということで、グラフィックデザインツールを利用し、チーム内外で使い方を教え合いながら作成しました。9月29日には日本海テレビの方が来校し、日本海テレビチームのプレゼンを見ていただきました。10月2日の公開授業では、他の国語表現のクラスの生徒も加わり、両チームのプレゼンを評価してもらいました。

(6) 「ビジネスプランコンテスト」当日



10月9日、いよいよビジネスプランコンテスト当日を迎えました。会場には大勢の企業関係者が集まりました。午前がりハーサル、午後が本番でしたが、昼休憩の間、生徒たちは会場の外に出て、通行人が行き交う大通りの道端で最後の練習を行っていました。本番では、両チームとも自分たちの持っている力を十分に発揮し、大勢の企業関係者の前でステージに立ち、堂々と発表しました。その結果、日本海テレビチームが他校の強豪チームを抑え、見事優勝しました。

授業の成果

- ① 様々なことを組み合わせながら解決策を考える楽しさ、ICT 機器を使いこなす技術力が向上する楽しさ、地域の役に立つ喜びなどを実感することができました。
- ② 企業の方々と協議を重ね、コンクールで大勢の企業関係者の方々に前にプレゼンを行うことで、思考力・表現力・精神力を高めることができました。